



学校だより

はと広場

4 月 号

平成 30 年 4 月 9 日
さいたま市立北浦和小学校
TEL 048-831-2463

子どもたちに 自信と誇りをもたせる教育

校長 益子 聡

◆ ときめきの スタート

3月22日、75名の卒業生が北浦和小学校での学びを終え、中学校へと巣立っていきました。そして、本日、本格的な春の訪れとともに、新一年生122名を迎え、北浦和小学校は全校児童658名でスタートしました。本年度は、新一年生とわかば学級の入学者数が増えたため、2学級増え22学級となりました。

今年の2月、4月から入学予定の園児に関する情報を交換する『保幼小連絡協議会』を、関係幼稚園や保育園の先生方を招いて行いました。その中で、新一年生となる子どもたちは、小学校に入学することを毎日わくわくドキドキしながら生活しているとお聞きました。

そんな新一年生を迎える中、新六年生は北浦和小学校の最高学年としての自覚と思いを新たにしていることと思います。これからの生活の中で、学校の顔としての姿をしっかりと見せてくれることでしょう。

新二年生も、昨年お兄さんお姉さんたちにやってもらった以上のことを新一年生にしてあげようと、手間と時間をかけて一生懸命準備をしていました。

この時期、どの学年の子どもたちも、新しい出会いに心をときめかせていることでしょう。その心をしっかりと受け止め、平成30年度の教育活動を進めてまいります。

◆ 平成30年度の北浦和小教育

昨年度“なかよし活動”をはじめとする学年たてわり班活動では、異学年の子どもたちが休み時間に一緒に遊んだり行事で声をかけ合ったりする姿が多く見られました。一人ひとりが、それぞれの学年の立場でどうしたらよいのかを主体的に考え活動していました。それらの活動を通して、子どもたちは学年相応に友だちの役に立つことができたといい成就感や、友だちや先生から必要とされているという満足感を味わったのではないかと思います。

北浦和小の子ども一人ひとりは、自分が誇れるもの、自信があるものを必ず一つはもっています。それを生かしたがんばりや結果を、たとえ小さなことでも見逃さず大いにほめることは、自分のよさはここだということ子ども自身に気づかせ、さらに前向きに生きていくという力につながっていきます。本年度は、子どもたちの日々の成果や成長を見極め、子ども一人ひとりが誇れるもの、自信があるものを新しく見つけたりあらためてわかたりすることができるように、教職員も力を尽くしてまいります。そして、学校生活のひとこまで、胸を張り瞳を輝かす子どもたちの姿が見られることを、楽しみにしています。

今の子どもたちは、これから国際社会に羽ばたき、活躍していく存在です。北浦和小学校で学ぶ子どもという強い自負心をもたせ、校歌の一節である〈ぼくらはやがて日本の 若い力 若い朝 若い世紀をつくる〉力を備えた子どもを育てる教育活動を、一つ一つ丁寧に行ってまいります。